

平成 30年度 小諸市公共下水道事業 汚水管路工事

数 量 計 算 書

場 所 小諸市八幡町三丁目

工区名 八幡町3工区 (交付金事業)

小 諸 市 役 所

# 数量集計表

工事名

八幡町3工区(交付金事業)

内径 150mm 管種 リブ付き塩ビ管

工種	施工名称など	単位	数量	備考
<b>管路土工</b>				
掘削工	0.28BH	m3	73	73.7
	0.45BH	m3		
埋戻工 良質発生土 管上30cmまで	0.28BH	m3		
	0.45BH	m3		
埋戻工 購入土 管上30cm以上	0.28BH	m3		
	0.45BH	m3		
発生土処分工	4tDT 0.28BH	m3	73	73.7
	4tDT 0.45BH	m3		
砕石埋戻工	0.28BH	m3	41	41.6
<b>管布設工</b>				
管路延長	PRP φ 150mm	m	50.6	
管渠延長	PRP φ 150mm	m	50.1	
埋設シート	幅150 シングル	m	50.1	
埋設テープ	幅 3cm	m	50.1	
<b>管基礎工</b>				
砕石基礎	RC40-0 0.28BH	m3	15	15.1
	RC40-0 0.45BH	m3		



# 1号マンホール数量集計表

工事名

八幡町3工区(交付金事業)

1箇所

工種	施工名称など	単位	数量	備考
1号マンホール設置工				
鉄蓋	T-14	組	1	
	T-25	組		
調整コマ	2~12cm	セット	1	
調整リング	10	個		
	15	個		
	20	個	1	
斜壁	45	個	1	
	60	個		
く体ブロック	60	個		
	90	個	1	
	120	個		
	150	個		
	180	個		
直壁	30	組		
	60	組		
	90	個		
	120	個		
	150	個		
	180	個		
底版		個	1	
底部工	標準	箇所	1	
	インバート無し	箇所		
	インバートのみ	箇所		

工種	施工名称など	単位	数量	備考
ブロック据付工	～3.00	箇所	1	
	3.01～4.00	箇所		
	4.01～5.00	箇所		
可とう継手	PRP φ 150	個	1	
削孔工	PRP φ 150	箇所		
	VU φ 150	箇所		
	VU φ 100	箇所		
副管工(外部) 本管径150×副管径150	平均副管高 0 m	箇所		
<b>1箇所当り副管材料</b>				
<外副管>				
外副管継手		個		
カラー		個		
VU管		m		
エルボ		個		
下流砂付継手		個		
型枠		m <sup>2</sup>		
コンクリート		m <sup>3</sup>		
基礎碎石		m <sup>2</sup>		
<内副管>				
内副管継手		個		
カラー		個		
VU管		m		
エルボ		個		
バンド	1本/m	個		

# 汚水柵設置及び取付管工数量集計表

工事名

八幡町3工区(交付金事業)

取付管布設数

1箇所

取付管径 100

ます設置数

0箇所

工種	施工名称など	単位	数量	備考
<b>土工</b>				
掘削工	0.28BH	m3	3	3.8
碎石埋戻工	0.28BH	m3	2	2.3
埋戻工	0.28BH	m3		
発生土処分工	0.28BH	m3	3	3.8
<b>ます設置工</b>				
保護蓋	沈下防止板含む φ200用(こもろすみれ)	個	0	
内蓋	φ200用	個	0	
柵蓋	φ200用	個	0	
マルチ柵	横型 H=0.8	個	0	
	横型 H=0.9	個	0	
	横型 H=1.0	個	0	
	横型 H=1.1	個	0	
	横型 H=1.2	個	0	
	横型 H=1.3	個	0	
	横型 H=1.4	個	0	
	横型 H=1.5	個	0	
	横型 H=1.6	個	0	
	横型 H=1.8	個	0	
	横型 H=2.0	個	0	
汚水柵設置工	~1.0	箇所	0	
	1.01~1.5	箇所	0	
	1.51~2.0	箇所	0	

# 汚水柵設置及び取付管工数量集計表

工事名

八幡町3工区(交付金事業)

取付管布設数

1箇所

取付管径 100

ます設置数

0箇所

工種	施工名称など	単位	数量	備考
塩ビ製小口径マンホール設置工			-----	
保護蓋	T-14	組	-----	
内蓋		枚	-----	
マルチ 150-300	H=0.6m	個	-----	
立管	VUφ300	m	-----	
設置工 150-300	H≤3.5m	箇所	-----	
異形ソケット	VUφ100-150	箇所	-----	
			-----	
			-----	平均延長 1.90
<b>取付管布設工</b>			-----	
取付管布設及び支管取付工	φ100、L=0.01~3.00	箇所	1	
(民地内布設延長含む)	φ100、L=3.01~5.00	箇所	-----	
	φ100、L=5.01~	箇所	-----	
砂基礎		m <sup>3</sup>	1	0.6
削孔工	VUφ100	箇所	0	
マンホール可とう継手	VU100	個	0	
ホールソー受口	100-300	個	0	
			-----	
埋設シート	幅150 シングル	m	1.8	
埋設テープ	幅3cm	m	1.8	
キャップ	φ100	個	1	
			-----	
			-----	
<b>取付管土留工</b>			-----	
建込簡易土留(建込・引抜)	H=2.5m	m	-----	0箇所
			-----	
			-----	

## 付帯工数量集計表

工事名 八幡町3工区(交付金事業)  
PRP φ 150

工種	施工名称など	単位	数量内訳		数量合計	備考
			本管+取付管	影響		
<b>アスファルト舗装工</b>						
舗装切断工	アスファルト t=3cm 歩道部	m				
	アスファルト t=4cm 車道部	m				
	アスファルト t=5cm 車道部	m	104.8		104	
	アスファルト t=10cm 車道部	m				
	アスファルト t=15cm 車道部	m				
	コンクリート t=10cm	m				
<b>舗装版取壊処分工</b>						
	アスファルト t=3cm 歩道部	m2				(計算値) 舗装展開図より
	アスファルト t=4cm 車道部	m2				(計算値) 舗装展開図より
	アスファルト t=5cm 車道部	m2	(48.2) 49.6		49	(計算値) 舗装展開図より
	アスファルト t=10cm 車道部	m2				(計算値) 舗装展開図より
	アスファルト t=15cm 車道部	m2				(計算値) 舗装展開図より
	コンクリート t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
<b>ダンプトラック運搬</b>						
	アスファルト 歩道部	m3				舗装取壊面積 × 既設舗装厚
	アスファルト 車道部	m3	2.4		2.4	舗装取壊面積 × 既設舗装厚
	コンクリート	m3				
<b>建設廃材処分</b>						
	アスファルト殻処分量 歩道部	t				× 2.3
	アスファルト殻処分量 車道部	t	5.6		5.6	× 2.35
	コンクリート殻処分量	t				× 2.35

## 付帯工数量集計表



工事名 八幡町3工区(交付金事業)  
PRP φ 150

工種	施工名称など	単位	数量内訳		数量合計	備考
			本管+取付管	影響		
<b>&lt;全幅復旧&gt;</b>						
舗装復旧工 市道 表層工	アスファルト舗装 再生密粒度As20F t=5cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 上層路盤工	CR25-0 t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 下層路盤工	RC40-0 t=25cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
不陸整正		m2				(計算値) 舗装展開図より
<b>&lt;仮復旧&gt;</b>						
舗装復旧工 市道 表層工	アスファルト舗装 再生粗粒度As20 t=4cm	m2	(48.2) 49.6		49	(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 上層路盤工	CR25-0 t=11cm	m2	(48.2) 49.6		49	(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 下層路盤工	RC40-0 t=25cm	m2	(48.2) 49.6		49	(計算値) 舗装展開図より
不陸整正		m2				(計算値)
<b>&lt;舗装復旧&gt;</b>						
舗装復旧工 未舗装 表層工	RC40-0 t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
<b>&lt;舗装復旧&gt;</b>						
舗装復旧工 市道 歩道 表層工	アスファルト舗装 再生細粒度As13 t=3cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 歩道 路盤工	RC40-0 t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道 歩道 凍上抑制層工	RC40-0 t=15cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道co舗装 表層工	コンクリート舗装 t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より
舗装復旧工 市道co舗装 路盤工	RC40-0 t=10cm	m2				(計算値) 舗装展開図より





### 建込簡易土工賃料算定表

工事名:八幡町3工区(交付金事業)

項 目	単 位	記 号	PRP本管径 φ 150					
矢板長	m	A		2.00				
掘削幅	m	B		0.90				
平均掘削深	m	C		1.67				
施工延長	m	D		50.6				
1日締切延長	m	E		30				
賃料日数	日	F		4				
水替日数	日	G		2				
対象面積	m <sup>2</sup>	H=A×E×2		120				

## 建込簡易土留損料算定表

工事名: 八幡町3工区(交付金事業)

(1)内 訳

管 径	型 式	平均掘削深	L(m)	A(m <sup>2</sup> )
本 管 径 φ 150	H= 1.50			
	H= 2.00	1.67	50.60	84.50
	H= 2.50			
	H= 3.00			
	H=			
	H=			
本 管 径 φ	H=			
	H=			
	H=			
	H=			
	H=			
計			50.60	84.50

(2)型式の算定

$$\Sigma A / \Sigma L = 84.50 / 50.60 = 1.67 \text{ m}$$

(3)転用回数

$$\Sigma L / 30.0 = 50.60 / 30.0 = 2 \text{ 回}$$

$$n = (2 + 1) / 2 = 1.5$$

(4)使用数量

$$1.67 \times 2 \times 30 \times 1.5 = 150 \text{ m}^2$$